

2024年6月支給賞与について 妥結報告

5月13日（月）IMBS支部労使協議会を行い、
2024年6月支給賞与について要求を行い、

即日要求内容通りと回答をいただき妥結しました。

今回のユニオンレターでは、『妥結までの状況』、
『労使協議会のコメント』、
『アンケートおよびメンバーズVOICEについて』
をご報告します。

<要求・回答の様子>



左：吉田竜二さん、右：国岡真哉さん

※藤森さんはリモートで出席

妥結までの状況

【メンバーズVOICEの状況】視聴率：68.9%（210人/305人）

今回のメンバーズVOICEは動画配信で行いました。ご視聴いただき、ご意見もいただきましてありがとうございます！また、ご視聴の促進のご協力もいただきまして誠にありがとうございました！

ただ、視聴率は継続的に80%は越えられるようにしたいと思っています！！

引き続き、ご視聴とご視聴の促進にご協力をお願いいたします。



引き続き組合HPよりメンバーズVOICEを視聴できます。

URL (<http://www.imgu.or.jp/>)

ログインID：各人の個人コード10桁（企業コード2桁＋社員コード8桁）

パスワード：生年月日8桁（1983年9月21日→19830921）

<組合HP>



代表取締役社長 藤森健至さんのコメント（2-1）

- 今回の6月賞与は非常に意義のあるもの、転換期を迎えたIMBSの第一歩を踏みだせたと実感しています。
- 賞与は1年間の評価がどうだったかということ定量、定性の2面から見ています。
- 三越伊勢丹グループでは、定量、定性ともに高い目標にチャレンジし、達成したらきちんと処遇を得るとしています。
- そして、今後の中長期にわたって全事業会社がこれを理解し、高い目標にチャレンジすることで、それを成し遂げていこうということです。
- IMBSでも、「高い目標」についてはもう少しわかりやすく、『達成確率が50%の高い目標を常に掲げよう』とっています。
- 23年度期初予算は286百万でしたが、部門として評価される定量目標＝三越伊勢丹グループからの期待値は「上期予算＋下期ローリング予算＝296百万」が達成目標でしたが、これがまさに達成確率50%の目標でした。
- そして今年度の実績は297百万で、期初予算に11百万、ローリング予算にも1百万円のプラスで着地しました。
- これは、全国の拠点の皆さんが、「全員営業」を合言葉に、利益の創出、グループ物流費の削減という高い目標を掲げ、本当に全拠点の力が合わさった結果が、プラス1百万円の達成だと思っています。
- グループからの期待値に行くか行かないかというのは、今後のわが社への成長投資につながるかどうかの大きな違いで、1百万上回るという結果、これはまさに達成確率50%の高い目標を達成したということであり、本当に高く評価できることだと思っています。
- 一方で定性評価、アクションプランについてはやや残念な結果となりましたが、そもそも達成確率50%の高い目標を掲げていましたので、こちらは今一步及ばずということでした。
- しかし24年度以降のアクションプランにつながるIMBS全体の変化として、『全員営業』が全従業員まで浸透し、利益志向が根付き始めていると実感しています。
- 会社全体が一事業会社として収益を上げるということを理解し、自分たちで変化していく土壌が出来上がってきたことを高く評価しています。

代表取締役社長 藤森健至さんのコメント（2-2）

- 24年度営業利益目標の366百万、これは今後丁寧に説明していきますが、なぜ高い目標を掲げたのか、それは目標達成確率が50%あるということです。
- 24年度の年度計画をHDSへ答申した際、2030年には営業利益10億、27年までの次期三ヵ年計画では営業利益5億、このように高い目標を掲げ、そこに対してきちんと人的資本への投資を行う、つまり頑張ってくれたメンバーへの処遇改善、そして少数精鋭で行っていくための業務改革への投資、それらをきちんとセットして答申し、グループ内で理解いただきました。
- そのようにバックキャストで考えても、IMBSは二けたの営業利益を目指す会社ということで、2024年度はきちんと366百万という過去最高の高い目標を達成する、これは十分に可能と考えています。
- そのためには定性的なアクションプランが大事で、そこが一人一人の業務目標にきちんと結びついていくように、それを推進していくマネージャー経営（ステージB経営）を根幹におき、24年度目標に向け全社一丸となって頑張っていきたいと思います。

支部執行委員長 国岡真哉さんのコメント

まずはこのように早期に回答いただきまして誠にありがとうございました。また、2024年度に入りまして多くの協議機会を頂きまして重ねて御礼申し上げます。

組合としても、今回変動賞与がメンバーに支給されるという結果については意味のあることであると考えています。変動賞与という制度ができてからはコロナの影響もあり、一度も支給されることがありませんでしたが、こうして支給がされるという結果に至ったことは、その事実だけでも意味のあることだと思いますし、今後高い成果を出せばそれが賃金に反映されるということをより実感できるという意味でも大きな意味があると思っています。

VOICEの結果については、確かに視聴率は課題が残る結果ではありましたが、メンバーからいただいた声についてはこの賞与（案）についてポジティブに捉える声が多かったと認識しています。また一方で、2024年度の高い営業利益について知りたいという声は多くいただきました。これは会社からだけでなく、組合としてもメンバーへの正しい理解のフォローはする必要があると考えており、一丸となって中期経営計画の達成を目指していきたいと思っておりますし、その際には報酬に対する協議もお願いしたいと考えていますので、今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

メンバーズVOICEでのご質問およびご意見

(複数名の時給制の方から)

□フェロー社員で働いていて初めてボーナスがもらえます。とても嬉しいです。

□今後もボーナスが出ますように期待しています！

⇒たくさんの喜びの声をいただきましてありがとうございます。これまでのコロナ禍でのことを考えると感慨深いですね。今後とも好業績→変動賞与の支給を目指し一丸となって頑張っていきましょう！

□変動賞与はありがたいと思う一方で、物価高が続く中、賃金自体の底上げの検討をお願いします。

⇒引き続き議論を行ってまいります。全体の底上げ以外でも、仕事と賃金のバランスや、採用競争力の向上、実際に困っている方への対応、など様々な角度から議論は続けていこうと思います。

□今後リアルのVOICEは行わないのでしょうか？

⇒可能な限りリアルのVOICEは行いたいと思っています。一方で全国の拠点にお伺いするとなるとそこまで頻度高くお伺いすることは難しいと思います。ただ、VOICEに限らず皆さんの意見を吸い上げられるよう足を運んだり、デジタルツールを活用したり工夫はしていこうと思います。

□今年度の営業利益予算（366百万円）の根拠を知りたい。

⇒内容については組合でも確認中で、ただメンバーの皆さんにはきちんと説明がなされると思います。引き続き組合でも確認をします。

多くのご意見、ご質問ありがとうございました！！



■■■相談・問合せ窓口■■■

■三越伊勢丹グループ労働組合 三越伊勢丹ビジネス・サポート支部

電話 内) 801-23-911 外) 03-5273-5165 FAX 内) 801-23-920 外) 03-5273-5177

携帯電話(書記長) 井口: 080-3129-4041 (委員長) 国岡: 080-8755-8274

■兼任執行委員: 鈴木尚子・横塚ひろみ・安倍智紀・武知美保

■評議員・職場委員: お近くの組合役員までお問い合わせください。

